

# 平成21年8月 全国百貨店売上高概況



平成21年9月18日

## I. 概況

1. 売上高総額	4,568億円余
2. 前年同月比	-8.8% (店舗数調整後/18か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	87社 271店 (平成21年7月対比-1店)
4. 総店舗面積	6,661,216㎡ (前年同月比:-2.2%)
5. 総従業員数	101,503人 (前年同月比:-0.1%)
6. 3か月移動平均値	1-3月 -11.2%、2-4月 -12.0%、3-5月 -12.3%、 4-6月 -10.8%、5-7月 -11.0%、6-8月 -9.9%

[参考] 平成20年8月の売上高増減率は-3.1% (店舗数調整後)

### 【8月売上の特徴】

18か月連続の前年同月比マイナスであるが、減少幅は2か月ぶりに1桁台となった。

8月は、雇用情勢と所得環境の悪化、更には天候不順(低温多雨と2度の台風)などのマイナス与件の中で、高額品や盛夏商材を中心に引き続き厳しい売上動向となったが、セールや集客催事の強化など各店の対策効果が下支えたこともあって、売上減少幅は前月(7月/-11.7%)に比べ2.9ポイント改善する結果となった。

具体的な動向としては、台風11号や総選挙の影響で首都圏を中心に月末の売上に大きな影響を受けたこと、中旬までの冷夏で水着・浴衣・日傘などの季節商材が不調であったことなどマイナス要素が見られた一方、裾値拡大策やセール強化策に一定の効果が見られたこと、文化催事や集客イベントの積極展開により入店客数が堅調に推移したこと、一部の特選ブランドで前年を超えるケースも出ていること、地区別では中国地区や九州地区が健闘したことなどがプラス要素として報告されている。

### 【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「8月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 月を通じて太平洋高気圧の張り出しが弱く、ほぼ全国的に日照時間が少なかった。気温も沖縄・奄美を除いて平年を下回った。上旬の台風9号では九州・東北が、月末の11号では関東地方を中心に暴風や大雨となった。

(2) 営業日数増減 30.7日 (前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日 ( " ±0日)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 13店、②変化なし: 18店、③減少した: 109店、④不明: 47店

(5) 8月歳時記 (旧暦お盆、夏休み、夏祭り) の売上 (同上)

①増加した: 10店、②変化なし: 36店、③減少した: 52店、④不明: 89店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 8店、②変化なし: 37店、③減少する: 78店、④不明: 64店

# 全国百貨店 売上高速報 2009年08月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>全国</b>	<b>456,860,980</b>	<b>100.0</b>	<b>-8.8 ( -9.7)</b>
<b>10都市</b>	<b>292,869,392</b>	<b>64.1</b>	<b>-9.0 ( -9.9)</b>
札幌	12,602,042	2.8	-9.5 ( -12.5)
仙台	6,159,810	1.3	-9.2
東京	107,053,740	23.4	-10.3 ( -11.5)
横浜	25,297,679	5.5	-7.2 ( -10.6)
名古屋	24,974,975	5.5	-10.6
京都	19,069,419	4.2	-7.9
大阪	60,204,956	13.2	-8.6
神戸	12,944,570	2.8	-9.9
広島	11,487,010	2.5	-5.2
福岡	13,075,191	2.9	-5.1
<b>10都市以外の地区</b>	<b>163,991,588</b>	<b>35.9</b>	<b>-8.3 ( -9.4)</b>
北海道	2,876,574	0.6	1.2 ( -16.5)
東北	9,566,669	2.1	-12.5
関東	75,742,909	16.6	-9.2
中部	13,106,866	2.9	-8.0
近畿	16,086,221	3.5	-7.8
中国	11,812,871	2.6	-6.9 ( -5.9)
四国	8,394,739	1.8	-7.4 ( -11.1)
九州	26,404,739	5.8	-6.5 ( -10.6)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>総 額</b>	<b>456,860,980</b>	<b>100.0</b>	<b>-8.8 ( -9.7)</b>
紳士服・洋品	23,837,683	5.2	-11.7 ( -12.5)
婦人服・洋品	93,781,070	20.5	-11.4 ( -12.3)
子供服・洋品	9,249,537	2.0	-12.4 ( -13.0)
その他衣料品	13,610,703	3.0	-9.6 ( -10.7)
<b>衣 料 品</b>	<b>140,478,993</b>	<b>30.7</b>	<b>-11.3 ( -12.3)</b>
身のまわり品	56,499,054	12.4	-12.4 ( -13.6)
化粧品	26,422,420	5.8	-4.3 ( -4.9)
美術・宝飾・貴金属	21,633,831	4.7	-14.3 ( -15.5)
その他雑貨	21,679,929	4.7	-16.0 ( -16.3)
<b>雑 貨</b>	<b>69,736,180</b>	<b>15.3</b>	<b>-11.3 ( -12.0)</b>
家 具	7,606,551	1.7	-8.7 ( -9.2)
家 電	1,766,427	0.4	0.2 ( -0.2)
その他家庭用品	15,139,464	3.3	-8.0 ( -9.1)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>24,512,442</b>	<b>5.4</b>	<b>-7.7 ( -8.5)</b>
生 鮮 食 品	29,445,343	6.4	-3.2 ( -4.1)
菓 子	37,597,087	8.2	-2.5 ( -3.4)
惣 菜	28,477,317	6.2	-9.2 ( -9.8)
その他食料品	38,579,695	8.4	-3.5 ( -4.8)
<b>食 料 品</b>	<b>134,099,442</b>	<b>29.4</b>	<b>-4.4 ( -5.4)</b>
食 堂 喫 茶	16,991,052	3.7	-8.0 ( -8.9)
サ ー ビ ス	5,768,347	1.3	-2.5 ( -3.6)
<b>そ の 他</b>	<b>8,775,470</b>	<b>1.9</b>	<b>8.0 ( 6.2)</b>
<b>商 品 券</b>	<b>14,671,451</b>	<b>3.2</b>	<b>-9.9 ( -10.8)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

- |                  |       |                     |
|------------------|-------|---------------------|
| 1. 10都市売上動向      | -9.0% | (店舗数調整後／18か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -8.3% | ( " / 26か月連続マイナス)   |

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-9.0	-5.8	18か月連続マイナス
札幌	-9.5	-0.3	12か月連続マイナス
仙台	-9.2	-0.1	16か月連続マイナス
東京	-10.3	-2.4	18か月連続マイナス
横浜	-7.2	-0.4	13か月連続マイナス
名古屋	-10.6	-0.6	21か月連続マイナス
京都	-7.9	-0.3	12か月連続マイナス
大阪	-8.6	-1.1	18か月連続マイナス
神戸	-9.9	-0.3	17か月連続マイナス
広島	-5.2	-0.1	18か月連続マイナス
福岡	-5.1	-0.1	13か月連続マイナス
10都市以外の地区	-8.3	-3.0	26か月連続マイナス
北海道	1.2	0.0	3か月連続プラス*
東北	-12.5	-0.3	17か月連続マイナス*
関東	-9.2	-1.5	26か月連続マイナス
中部	-8.0	-0.2	17か月連続マイナス
近畿	-7.8	-0.3	17か月連続マイナス
中国	-6.9	-0.2	15か月連続マイナス*
四国	-7.4	-0.1	26か月連続マイナス
九州	-6.5	-0.4	24か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、7か月連続で全品目がマイナスとなった。しかし、惣菜が先月より落とす動きとなったが、他はすべて改善し、特に惣菜以外の食料品と化粧品は、比較的堅調な動きとなった。また、家電が20か月ぶりにプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	-8.8	—	18か月連続マイナス
紳士服・洋品	-11.7	-0.6	17か月連続マイナス
婦人服・洋品	-11.4	-2.4	26か月連続マイナス
子供服・洋品	-12.4	-0.3	12か月連続マイナス
その他衣料品	-9.6	-0.3	18か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	-11.3	-3.6	26か月連続マイナス
<b>身のまわり品</b>	-12.4	-1.6	24か月連続マイナス
化粧品	-4.3	-0.2	9か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-14.3	-0.7	30か月連続マイナス*
その他雑貨	-16.0	-0.8	21か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	-11.3	-1.8	18か月連続マイナス
家具	-8.7	-0.1	21か月連続マイナス
家電	0.2	0.0	20か月ぶりプラス
その他家庭用品	-8.0	-0.3	18か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	-7.7	-0.4	21か月連続マイナス
生鮮食品	-3.2	-0.2	7か月連続マイナス*
菓子	-2.5	-0.2	7か月連続マイナス*
惣菜	-9.2	-0.6	15か月連続マイナス*
その他食料品	-3.5	-0.3	7か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	-4.4	-1.2	7か月連続マイナス
食堂喫茶	-8.0	-0.3	13か月連続マイナス
サービス	-2.5	0.0	5か月連続マイナス
<b>その他</b>	8.0	0.1	12か月連続プラス
<b>商品券</b>	-9.9	-0.3	26か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田・佐藤まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>